

# 国語 小学校 4年

## 単元の流れ（全6時間）

### 【第1次】<メモを取った経験を話し合い、メモの大切さについて考えて、学習のめあてを持つ>

#### 第1時

- ・学習などでメモを取った経験を交流し、どのような場面で、どのようなメモを取ったか、形式や内容を整理する。
- ・メモを取って役に立ったことや、よかったと感じたことなどを話し合うことを通して学習課題を設定する。

### 【第2次】<メモのよさや、取り方の工夫を考える>

#### 第2時 メモを取る体験から、気が付いたことや難しかったことを話し合う。

- ・「五年生の説明」を聞いて、メモを取ってみる。
- ・メモを取ってみて、気が付いたことや難しかったことを話し合い、メモの取り方について考える。

#### 第3時 教科書のメモ例のよいところをグループで分担して考えて、発表の準備をする。（本時）

- ・メモ例（ワークシート）を見ながら「五年生の委員会の説明」を聞き、気が付いたことなどを書き込む。
- ・発表する内容をグループで話し合い、発表の準備をする。

#### 第4時 グループからの発表をもとに、いろいろなメモの取り方や工夫についてまとめる。

#### 「活用」の力育成のために

グループで分担して調べたことを発表し合って学び合う活動に十分な時間を取る。

### 【第3次】<メモを取る練習をする>

#### 第5時 「放送委員会の説明」（教師作成）を聞いてメモを取り、各自のメモのよいところなどをグループ内で評価し合う。

評価問題

#### 第6時 メモの取りやすい話し方について考え、これからの自分の「話すこと・聞くことのめあて」を決める。

単元名 大事なことを落とさずに  
聞く  
「聞き取りメモの工夫」  
光村図書「国語四下」

#### 単元目標

大事なことを落とさないように聞くためのメモに取り方について考え、実際に話を聞きながらメモを取る。

#### 単元構成の意図

聞くことの学習として、メモを取る力を身に付けさせることをねらいとした単元である。話を聞いてメモを取ってみたり、例として提示されたメモと照らし合わせながら話を聞いたりするなど、実際に聞いたりメモを取ったりする体験を多く設定し、実践的な力を身に付けさせたい。

また、教科書のメモ例を分析・検討する活動をグループで分担して行い、互いの発表を通して学び合うことで、これまでに身に付けてきた国語の能力を活用できるようにすると共に、主体的に学習に取り組もうとする意欲を育てたい。

#### 「活用」の力を育てるポイント

メモを取ることに、方法やコツを知識として理解することがまず必要である。その上で、その知識や技能を実際に活用する場を数多く設定することが重要になる。本単元の学習後、様々な教科の学習でメモを取る活動を設定するよう留意することが重要である。

違った内容だが全体の構成は同じ話を聞かせることで、前時に学んだメモの取り方を生かせるようにする。説明の例は、評価問題として掲載している。

[授業展開例へ](#)

[本時の流れへ](#)

[HOME](#)